

はまゆうは、我等の香り、自然を大切に守りましょう

広報しもだ 1

2025
No. 789

爪木崎から朝日を望む

あけましておめでとうございます



下田市議会議長
中村 敦



下田市長
松本 正一郎

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。

昨年は、元旦の能登半島地震で1年が始まり、夏には南海トラフ地震臨時情報が発表されるなど、自然の脅威を再認識させられる年でした。

下田市も能登と同様、美しい海に恵まれる一方、災害時の孤立化や復旧活動の難航といった半島特有のリスクを抱えています。

私自身も実際に能登に行き、被災地のリアルな状況を見聞きしてまわって、「半島防災」の難しさとその重要性を肌で感じてきました。

「半島」は、どこも少子高齢化、人口減少という課題を抱えており、ひとたび大きな災害に遭うと、まちとしての復元力が弱いと指摘されています。

ですから、できるだけ被害を少なくすることがカギになります。

そして、そのためにも市民の皆様一人ひとりが防災意識を高め、住宅の耐震化や避難方法の確認など、事前の備えを進めていただきますようお願いいたします。

また、国際情勢に目を向けますと、ウクライナ、ガザ地区などでの戦争や地球温暖化に伴う環境問題、さらには円安や物価上昇などの経済問題もあり、国際・観光・文化のまちである私たちの下田市は、今まさにグローバルシティとしてその存在意義を高めることが求められると思います。

AIやITなどが高度に進歩し、ますます多様化、複雑化する現代社会では、グローバルとローカルの双方の事象を総合的にマネジメントすることが重要であり、そのためにも、様々な視点から物事を捉え、しっかりと考え、そして勇気をもってチャレンジすることが肝要です。

下田市役所としましては、市民の皆様とのコミュニケーションを大切にしながら、諸課題に正面から取り組み、安全で文化的で賑わいのあるまちづくりに向け努力してまいりますので、今年も皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、新しい年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様とともに、輝かしい新春を迎えられたことに深く感謝申し上げます。

黒船来航で日本が、下田から世界に門戸を開いて170周年だった令和6年、今度はピンク色の「桃船」が来航しました。それは東海汽船の試験航路で、東京までたった130分の高速ジェット船。船なのに速くて揺れないそれは船旅の概念を覆し、せっかちで欲張りな観光客にはびったりの、「新しい観光」を掲げる下田へのアプローチにふさわしいアウトラクション的移動手段と言えるものでした。定期就航を目標に、まずは季節運行を実現させ、再び下田を世界にアピールしたい新年です。この運行を企画実行した関係各位には感謝と敬意を表します。

新庁舎（活用棟）に移転して早8か月。オフィスは快適で、コンパクトな議場も設備は最新。利便性が向上しました。校舎から庁舎への改修は全国でも珍しく、今ある価値を磨き残す、小さな下田の大きな魅力の世界に発信する「グローバルCITYプロジェクト」にも通じ、視察の多さが注目度の高さを示しています。

注目といえはSリーグ（プロ

サーフィンリーグ）開催、デジタルノマド誘致、全国路地サミット開催、Sea級グルメ全国大会ではおいしさ部門大賞、大河ドラマ「光る君へ」のロケ地にもなっており、他にも盛りだくさん。民間も庁内各課も競うように新企画を打ち出しています。シャッター街といわれた旧町商店街では空き店舗対策事業が功を奏し、新店が続々オープン。街が生まれ変わりつつあります。今は点と点の様々な取組が線となり面となり、やがて積み上がり俯瞰したとき、それは次世代に残すべく輝く下田の姿でしょう。

片や課題も山積で、地域周産期医療、子育て・就学支援、公共交通維持等々、少子高齢化、人口減対策の直近の課題です。しかし如何なる時も私たちは市民が、自然と共生し心豊かに暮らす事こそが、定住・移住にも観光にも選ばれるまちとなるでしょう。さらなる公共の福祉と安心安全の充実に、明るく、共に考え協働し、明るい未来へ向かって議会は邁進する所存です。

皆様と下田市のより良い年となりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もご支援・鞭撻の程、何卒よろしくお祈り申し上げます。

下田税務署から所得税の確定申告等についてのお知らせ

問合せ先 下田税務署 ☎20185 (代表) ※自動音声案内

●令和6年分の確定申告は、スマホとマイナンバーカードを利用した「ご自宅からのe-Tax申告」を是非ご利用ください。国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、画面の案内に沿って金額等を入力するだけで、所得税、消費税及び贈与税の申告書や青色申告決算書・収支内訳書の作成・e-Taxによる送信ができます。

なお、マイナンバーカードを利用してe-Taxで申告する際、給与所得や公的年金等の源泉徴収票、医療費の支払額などの情報が自動入力可能となり、より簡単・便利に手続きを行うことができます（給与所得の源泉徴収票は、お勤め先から税務署に源泉徴収票がe-Taxで提出されている場合に限りです）。

詳細は、国税庁ホームページにおいて動画でご案内しています。下記二次元コードからご参照ください。

●確定申告会場へ来場される場合は、会場への入場には「入場整理券」が必要となります。

「入場整理券」は、確定申告会場での配布、または、LINEアプリを使ったオンラインによる事前発行の2つの方法で配布しています（入場整理券の配布状況に応じて、後日の来場をお願いする場合があります）。

確定申告書等作成コーナー



作成コーナー

動画で見る確定申告



確定申告 動画

国税庁LINE公式アカウント



区分	所得税の確定申告等	無料税務相談所
お知らせ概要	確定申告期間中は、下田税務署では申告相談を行っていません。	下記のとおり無料税務相談所を開設します。
日程	2月17日(月)～3月17日(月) ※土日祝除く	2月19日(水)～2月21日(金)
開設時間	9時～17時(受付終了:16時) (注)入場には「入場整理券」が必要です。	9時30分～12時、13時～16時 (注)入場には「入場整理券」が必要です。
会場	下田市民スポーツセンター(サンワーク下田) 下田市敷根761	
	第一会議室、第二会議室	第二会議室
持ち物	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年分の収入(所得)を証明する書類等(給与所得、公的年金等の源泉徴収票等) 事業、不動産所得のある方は、収入及び経費が分かる帳簿や書類等(収支内訳書又は青色申告決算書はご自宅で事前作成をお願いします) 各種控除証明書、領収書等(医療費控除の明細書はご自宅で事前作成をお願いします) 本人名義の金融機関の口座番号がわかるもの スマートフォン マイナンバーカード マイナンバーカードの発行時に設定した以下のパスワード <ul style="list-style-type: none"> ①署名用電子証明書(英数字6桁～16桁) ②利用者証明用電子証明書(数字4桁) 	
その他	確定申告会場では、基本的にはご自身でマイナンバーカードを利用したスマホ申告をしていただきますので、事前にマイナポータルアプリをインストールすると申告書の作成がスムーズに行えます。「署名用電子証明書」、「利用者証明用電子証明書」のパスワードについてご不明な場合は、各自治体窓口にお問合せください。	
申告と納税の期限	所得税及び復興特別所得税・贈与税の申告と納税の期限は、3月17日(月)です。消費税及び地方消費税の申告と納税の期限は3月31日(月)です。	

市県民税申告についての「大切な」お知らせ

問合せ先 税務課市民税係(東本郷庁舎窓口⑨) ☎22218

令和7年度(令和6年分) 市県民税申告相談日程	
申告期間	2月17日(月)～3月17日(月) ※土日祝除く
受付時間	9時30分～11時30分、13時～15時30分 ※事前にウェブ予約又は電話予約をお願いします。
申告会場	市役所河内庁舎 1階 多目的室 ※今回から、東本郷庁舎では申告相談はできません。又、 所得税の確定申告の受付はできません。



【今年度からの変更点】

申告会場について

申告会場が**市役所河内庁舎1階多目的室に変更**となります(東本郷庁舎では申告相談はできません。)

所得税の確定申告について

確定申告は、下田市役所では受付ができません。

確定申告の会場は、下田市民スポーツセンター(サンワーク下田)です。



【事前予約について】

会場の混雑緩和のため、インターネット上のウェブ予約と電話予約を行います。申告相談を受ける場合は、**予約が必要**となりますので、希望日の4日前までに事前の予約をお願いします。

①ウェブ予約



2月3日(月)
～3月13日(木)まで



②電話予約

☎22218

※平日9時～17時まで

2月10日(月)
～3月13日(木)まで

【市県民税の申告用紙について】

市県民税の申告用紙は、昨年申告された方、昨年中に転入された方へ1月下旬に郵送予定です。

市県民税の申告書は、ご自身で記入して郵送により市役所に提出することができます。

市政懇談会（地区車座座談会）

SHIMODAまちづくりミー

ティング）を開催しました

問合せ先 企画課秘書広報係（河内庁舎2階） ☎22-212



昨年10月2日～11月2日までの期間において、地域の現状や課題等について話し合う「地区車座座談会」を市内6地区で開催したほか、子育てや防災等のテーマ別と市政全般について意見を伺う「SHIMODAまちづくりミーティング」を市民文化会館で5回開催し、市民の皆さまと市政に関する意見交換、質疑応答を行いました。



子育て・教育

Q 人口減少に伴い、小学校の統合や選択制を考えているか。

A 市の母体も小さいこともあり、現在のところは考えていないが、中学生が1学年130人前後、幼保の子どもが70～80人程度、0歳児は66人（令和6年10月12日時点）と聞いている。今後、1つの選択肢として選択制も考えられる。

Q 市内の産科が無くなると里帰り出産ができない。持続させることはできないか。

A 子どもが少なくなっている現状から、経営として成り立たなくなってしまう。そもそも

も結婚をしない人が非常に増えている。多様性の時代ではあるが、結婚もいいものだというメッセージを出すことも大事だと思っている。また、ここで育てたいと思ってもらうことも非常に重要と考えており、この地域でも充足した教育を受けることができる環境を作らなければいけない。市としてもグローバルCITYなど、いろいろなことにチャレンジをしている段階。こうしたらいいという意見があったら教えていただきたい。

Q こども園が1つになると議会で答弁していたが、具体的に決まっているのか。

A 現在、0歳児と1歳児は定員いっぱい状態であり、施設改修等、受入体制を検討している。庁舎完成予定の令和8年度に合わせたいと思っているが、現実問題として難しい。できるだけ早くと思っている。

Q 大人も楽しく学べる学習の場があったらいいと思うが、そういったものはすでにあるのか。

A 高齢の方には寿大学、葵学園を行っていたが、以前に比べて機会が減っていると感じている。要望があったことを生涯学習課とも共有していく。

防災・環境

Q 津波避難タワーの設置について、市の考えを教えてください。

A 能登半島地震を踏まえ、津波避難タワーの必要性について検討していきたい。

Q 避難路は狭い階段を上ることになるが、ブロック塀や家屋に囲まれている。避難路を調査し、整備していただけないか。

A 令和7年度末でTOUKAI10が終了予定であることから、ダイレクトメールで無料耐震診断の利用を呼びかけている他、テレビCMや県職員とともに市職員が地域を回って耐震化を促している。また、避難路の整備については、自主防災会からの申請により、同会が行う整備について補助している。自主防災会を中心にお話をしていきたい。

Q 災害時に旅館等の宿泊施設を使用できるか。

A 観光客については、基本的に災害が発生したらいかなる手段を使っても帰っていただくことになる。下田温泉旅館組合の加盟ホテル14施設と、福祉避難所として利用することを県と共同で協定を結んでおり、使用することができる。

観光・産業

Q 飲食店でクレジットカードが使えない、深夜のタクシーがないという声を聴くが、補助等を市は考えているか。

A 市の財政が厳しい中で、全てを市が支援するのは難しい。スタートアップ支援など部分的なことはできるかもしれない。タクシー会社には物価高騰補助金を支給している。会社からは担い手不足が深刻であり、提供したくても提供が難しいとの回答を受けている。市としても解決策を模索している。

Q 磯焼けで海藻が激減している。市として支援できないか。

A 県伊豆分庁や漁協と連携しながら取り組んでいる。今年度静岡県庁の委託事業として白浜地区でブダイ駆除等を実施している。

Q 9月、10月の海も温暖で楽しめるという情報発信を市や観光協会ができるのではないか。

A 「新しい観光」や「新しいビーチリゾート」のご提案ではないかと思っている。柔軟に検討してチャレンジしていきたいと考えているが、地域の方々の理解も必要になる。皆さんの意見を広く聴きながら進めていきたい。

Q 市だけではなく観光協会、商工会議所、事業者が集まって意見交換をする場を設けてほしい。

A 市は「新しい観光」を模索しているが、これは数ではなく、付加価値の高い観光のこと。皆さんと考えていきたい。また、第2次下田市観光まちづくり推進計画が基本的な戦略としてあり、中間の見直しや振り返りを含め次期計画の策定準備に入っている。その前段としてワークショップを予定しており、関係者と意見交換をしつつ情報共有を図りたい。

Q 商工会議所等の組織に加入していない観光業者でも情報共有できる場を設けてほしい。

A 現在様々な発信方法を試行錯誤している。皆さんから効果的な発信方法についてご教示いただきたい。

Q 「新しい観光」として山、農業、林業にも目を向け、体験型の観光を創出することができないのではないか。

A 地域おこし協力隊の隊員として農業振興部門に1名採用を予定している。当該隊員とJA、農家の方々と連携して新たなネットワークづくりや農作物の販路拡大など一緒に考えていきたい。

その他

Q 空き家を空き地にすることで防災上のメリットがある場合は、税制上の優遇措置をするなどできないか。

A 類似した優遇措置を導入している自治体（佐賀市）もある。この場で導入するとは言えないが、貴重な御意見に感謝する。

Q 伊豆縦貫自動車道に対してどのような対応をしていくのか。

A 新しい知事になり、知事とともに国交省に要望を行った。伊豆半島の首長が一体となって要望を行っている。

Q 市は色々な事をやっているが知られていない。広報力が弱いと感じている。

A InstagramやFacebookなどのSNSも活用しているが、市の施策を伝えていくことが必要であり、伝わるような広報をしていきたい。

Q 旧下田グランドホテルについて、どの程度進んでいるのか。

A 現在、基本構想を策定中。災害時に活用ができるよう、解体後は防災公園（一時避難所）としての活用を予定しており、それによって、春日山遊歩道などを活用して指定避難所に逃げられるようにしたい。



全文はこちらから

「第3回しもだ健康川柳」入賞作品発表！

主催 市民保健課国保年金係（東本郷庁舎窓口③） ☎23922
 協力 下田川柳黒潮吟社

市では、地域の方に健康への関心を高めていただき、健康寿命を延伸していただくことを目的に、川柳作品を募集し、10月の1か月間で、**74名の方から合計360句**のご応募をいただきました。

たくさんの方にご応募いただき、誠にありがとうございました。

市長賞（大賞）は、令和7年度、特定健診・健康診査受診案内封筒に掲載するほか、優れた作品は健康寿命延伸に向けた市の広報等に幅広く活用させていただきます。

市長賞（大賞）

嘘でしょう体重計に入っ当たり (オバ子)



下田川柳黒潮吟社賞

年老いて持てる資産は自分の歯 (idoya)
 170年歴史動いた下田から (デミグラスのスパゲッティ)
 スーツ捨て買い足す服は作業服 (いよみかん)

伊豆の太陽賞

健診で今日より若い明日のため (小川)
 開港の歴史を刻むわが下田 (紫敷布団)
 女子会の目的同じ3世代 (よこよこ)

入選作品

健康



一人でも卒寿目指して手料理で (K佐藤)
 検診で早期発見助かった (村山 和子)
 リハビリと称してひ孫いかけ (おはぎ)
 朝活だ珈琲香り目覚め良し (ももめろ)
 健診で安気ポイントためている (よっちゃん)

開港170周年



黒船の遊覧船に乗る平和 (後藤 瑞義)
 ペリー見たわらじちよんまけ異国の地 (エコ活)
 ひやくななじゅう歴史に刻む海の街 (ばるちゃん)
 黒船とお吉とハリス国開く (すーさん)
 和親から170の時刻む (柿)

雑詠



彼岸花咲けど波乗る人去らず (笑いヨガ)
 老夫婦聞こえなくても通じ合い (キョロ)
 作業服アイドルなみにファンがつく (悩めるおばば)
 売り出しが後押しをするショッピング (のんちゃん)
 ペライト推しの数が増えてゆく (スタミナ太郎)

第25回しずおか市町対抗駅伝

応援ありがとうございました！



記録：2時間30分19秒
 順位：25位（市の部）

第25回 しずおか市町対抗駅伝 結果報告

市の部最下位という悔しい結果に終わった下田チームでしたが、高橋監督はじめとする実行委員会、コーチングスタッフの指導の下、この日に向けて6月から半年間、厳しい練習を積んできました。本番ではその成果を遺憾なく発揮し、下田市の代表として一生懸命に襷を繋ぎました。皆様のご支援、ご協力誠にありがとうございました。

次回大会に向けた候補選手募集は来年5月頃を予定しております。人口の多い地域と比較すれば選手層の薄い下田市ではありますが、大会の勝ち負けだけではなく、市全体のスポーツ振興を目指す上でも、今後は広く選手の発掘・育成を進めていく予定です。市町駅伝に興味をお持ちの方におかれましては、生涯学習課社会教育係までお問い合わせください。

問合せ先
 生涯学習課社会教育係
 (中央公民館) ☎235055



市の代表として懸命に走った選手たち



前立腺がん検診、肝炎ウイルス検査 (B型/C型) のお知らせ

申込・問合せ先 市民保健課健康づくり係 (東本郷庁舎窓口⑤) ☎22217

会場 東本郷庁舎 別館 健診室

日時 2月6日(木)、7日(金) 9時30分~11時 13時30分~15時 ※10分ごとに5名の予約制

予約方法 問合せ先へお電話にてお申込みください。※1月9日(木) 9時より受付開始

検査方法 問診票での聞き取りと採血のみ

前立腺がん検診

血液検査によりPSAという前立腺に特異的なたんぱく質の値を調べる検査を行います。前立腺がんを早期発見するための最も有用な検査です。

近年増加しているがんの1つであり、50歳頃から多くなる傾向にあります。

対象者

50歳以上74歳までの下田市民の男性
(年齢基準日:令和7年4月1日)

料金 400円



肝炎ウイルス検査 (B型/C型)

感染しても自覚症状が乏しいことから、感染に気づきにくく、放置すると慢性化し肝硬変や肝がんといった重篤な病態へ進行するおそれがあります。

対象者

40歳以上の下田市民の方(年齢基準日:令和7年4月1日)で、過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方

料金 700円

次のいずれかに該当する方は無料になります。

- ① 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳の方
- ② 70歳以上の方
- ③ 65歳~69歳で後期高齢者医療制度加入の方
※健康保険証を持参してください。
- ④ 生活保護世帯・非課税世帯の方
※事前申請が必要です。受診の際、証明書を持参してください。

大腸がん検診のお知らせ

申込・問合せ先 市民保健課健康づくり係 (東本郷庁舎窓口⑤) ☎22217

検査方法 便潜血検査(二日法) ※必ず2日分提出してください(1日分では受付できません)。

注意事項 ①生理中、痔出血が明らかな時は、採便を避けてください。

②検体は涼しい場所(冷蔵庫など)に保存してください。

③採便容器は使用期限があります。今年度配布されたものをご使用ください。

※連日採取が難しい方は、受診日前5日間で2本分採り、冷暗所に保存してください。

受診方法 下記の日程で、受診票と検体の回収を行います。※提出は、ご家族など代理の方でも可能です。

実施日	受付時間	受付場所
2月12日(水)	9時30分~10時	須原区民会館
	10時30分~11時	基幹集落センター
	13時30分~14時	白浜そりだ
2月13日(木)	10時~10時30分	須崎漁民会館
	11時~11時30分	柿崎公民館
	14時~14時30分	伊豆ライフサポートクリニック駐車場
2月14日(金)	9時30分~10時	朝日公民館
	11時~11時30分	大賀茂公会堂
	14時~14時30分	稲生沢公民館
2月15日(土)	10時~11時	市役所(東本郷庁舎)西館入り口

実施日の12時まで
市民保健課健康づくり係
(東本郷庁舎窓口⑤)

料金 300円 次のいずれかに該当する方は無料になります。

- ① 70歳以上の方
- ② 65歳~69歳で後期高齢者医療制度加入の方 ※健康保険証を持参してください。
- ③ 下田市検診等徴収金免除証明書をお持ちの方(生活保護世帯・非課税世帯)
※事前申請が必要です。受診の際、証明書を持参してください。



新築棟

杭打ち工事が始まりました。



体育館棟

体育館であったことを生かした明るく開放的な空間とします。



体育館棟 (工事後イメージ)

待合ロビーと市民ラウンジをつなぐことにより一体的な利用を促進します。



新庁舎は、令和8年5月の全体開庁に向けて、新築棟と体育館棟の整備を進めています。体育館棟は、学校であったことを生かして地域に親しまれ市民の交流を促す場所を目指しており、2階に執務ゾーン、1階に屋内広場や市民ラウンジなどの市民利用スペースを配置予定です。

問合せ先 企画課庁舎建設係(河内庁舎3階) ☎22212

新庁舎整備事業 工事の進捗について

新庁舎全体開庁まで
あと **485** 日

北方領土元島民3世による講演会

「北方領土のリングでプロレスをやるのが夢」との思いを胸に、北方領土返還要求運動を通じて学び感じたこと、郷土である北海道根室市の漁業に与えている影響等について講演いただきます。

日時 2月7日(金) 14時~15時

場所 道の駅開国下田みなと 会議室3

講師 北方領土元島民3世
覆面女子プロレスラー **七星** 氏

参加費 無料

申込・問合せ先 企画課政策推進係(河内庁舎2階) ☎22212



申込フォーム

今、私にできること

2月7日「北方領土の日」記念講演会

下田市・萩市 姉妹都市提携50周年

日本の未来を拓くために活躍した吉田松陰の歴史と功績を振り返り、国際交流の思いを新たにするため、姉妹都市の萩市から講師をお招きし、講演会を開催します。

日時 2月1日(土) 13時30分~16時

場所 道の駅開国下田みなと 会議室3

講師 萩・明倫学舎兼萩博物館
総括学芸員 **道迫 真吾** 氏

参加費 無料

申込・問合せ先 企画課政策推進係(河内庁舎2階) ☎22212



申込フォーム

吉田松陰の足跡

下田開港170周年記念事業 歴史講演会



カルシウムだけじゃない！強い骨を作るために

問合せ先 市民保健課健康づくり係（東本郷庁舎窓口⑤） ☎22217



皆さんは骨を強くする栄養と聞くと「カルシウム」を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか？骨を作り強くするためにはカルシウムが必要になりますが、実は骨を強くするのはそれだけではありません！

納豆や小松菜、ほうれん草、ブロッコリーに多く含まれ骨の形成を促進する「ビタミンK」、魚介類やきのこと類に含まれカルシウムの吸収を助ける「ビタミンD」が強い骨作りには欠かせません。

また、「ビタミンD」は食事だけではなく日光に当たることで体内でも作られます！

今回は**カルシウム、ビタミンK、ビタミンDが1品で摂取できる**レシピを紹介しています。ぜひこの機会に強い骨作りに取り組みたいはいかがでしょうか。



『簡単！鮭とほうれん草のクリームパスタ』（2人分）

（材料）

- ・ パスタ（乾） 2人前（180g）
- ・ スライスチーズ 2枚
- ・ 鮭（切り身） 1切
- ・ ブラックペッパー（お好みで）
- ・ ほうれん草 2株
- ・ ぶなしめじ 1株
- ・ 玉ねぎ 1/2ケ
- ・ 牛乳 2カップ（400ml）
- ・ 水 350ml

1. 鮭は骨と皮を取り、一口大に切る。しめじは石づきを取りほぐす。玉ねぎは皮をおき薄く切る。ほうれん草は水で洗い、ざく切り。
2. フライパンに油を入れ鮭としめじ、玉ねぎを加え中火で炒める。
3. 牛乳と水を加えて沸騰させ、沸騰したら弱火にしパスタを茹でる。
4. 火を止め、ほうれん草とスライスチーズを加えて和え、お皿に盛り付け、お好みでブラックペッパーをふる。

年齢基礎年金の受給額に反映されず。産前産後免除期間は、保険料を納付したものととして老齢基礎年金の受給額に反映されず。

なお、多胎妊娠の場合は出産予定日又は出産日の6か月前からできますので、お早めの届出をお願いします。

免除対象期間

免除対象期間は、国民年金保険料が免除される期間です。産前産後免除期間は、保険料を納付したものととして老齢基礎年金の受給額に反映されず。

対象となる方

「国民年金第1号被保険者」で出産日が平成31年2月1日以降の方

※20歳以上60歳未満の自営業・農林漁業者とその家族、学生・無職の方

産前産後の国民年金保険料が免除になります

助けあい、支えあう「年金」ってとっても大事

付加保険料制度について

付加保険料制度は、国民年金の一般保険料に加えて付加保険料（月々400円）を納めることにより、老齢基礎年金に付加年金が上乗せされる制度です。

申込みをした月分から納めることとなります。手続きをご希望の方は市民保健課国民年金係へお申し出ください。

申請・問合せ先

市民保健課国民年金係

（東本郷庁舎窓口③） ☎22217

産前産後免除期間は、国民年金保険料が免除される期間です。産前産後免除期間は、保険料を納付したものととして老齢基礎年金の受給額に反映されず。

なお、多胎妊娠の場合は出産予定日又は出産日の6か月前からできますので、お早めの届出をお願いします。

防災かわら版

問合せ先 防災安全課防災係（河内庁舎2階） ☎364145

消防団員募集

消防団員は、自分の仕事をしながら、災害が発生した場合には消火活動等に従事する、**非常勤特別職の地方公務員**です。

消防団の主な活動としては、火災時の消火活動はもちろんのこと、平常時においても、火災予防運動や幼児への防災ダックを使った啓発活動、出初式、定例会議（1か月に2回）、応急手当普及員の資格取得などを行っています。



出初式

○入団後の処遇

- ①規定の金額が年額報酬として支給されます。また、火災出動や訓練への参加に応じた報酬も支給されます。
- ②ふじのくに消防団応援連盟事業がご利用できます。
- ③消防団活動中に負傷した場合は治療の費用などが補償されます。

○消防団員になるには

市内に居住または勤務している18歳以上の健康な男女であれば、どなたでも入団することができます。



秋の全国火災予防運動防火パレード



消防団分団別演習

道路交通法改正情報

自転車のスマホ・酒気帯び罰則強化

令和6年11月1日に道路交通法が改正され、下記のとおり新しく罰則規定が整備されました。

○運転中のながらスマホ

スマートフォンなどを手で所持して、自転車に乗りながら「**通話する行為**」「**画面を注視する行為**」が新たに禁止され、罰則の対象となりました（※停止中の操作は対象外）。

○酒気帯び運転及びほう助

「自転車の酒気帯び運転」のほかにも、「**酒類の提供や同乗・自転車の提供**」に対して新たに罰則が整備されました。



～下田のデキゴト～



11/25 高校生と社会人のトークフォークダンス

生徒2名と社会人1名がペアを順繰りにテーマに沿ったトークを交互に行うこの企画には、下田高校1年生130名、社会人66名が参加し、夢や後悔、武勇伝などを語り、様々な考え方の意見交換の場となりました。



11/28 第1回観光まちづくりワークショップ

約50名の参加者が時間ごとにグループを移動しながら多くの意見を出し合いました。これからの下田市の観光について、共に考え、共に実行する、市全体が一体となった新しい観光を目指します。



12/16 歴史から防災を学ぶ

地震学者である、都司嘉宣氏をお招きし、50名の方々が歴史的な地震が起きた時の下田の状況や、他地域の状況、そういった経緯からどのような対策をすることが望ましいかなど、歴史から防災を学びました。

- 12月のできごと**
- 1日 地域防災訓練
 - 7日 下田をきれいにする日
 - 15日 福祉講演会



11/28 静岡県統計功労者表彰式

統計事務に顕著な功績を残された方を表彰する、静岡県統計功労者表彰式が開催され、令和5年住宅・土地統計調査の統計調査員として尽力いただいた、蓮台寺在住の倉富博氏が総務大臣表彰を受賞されました。



12/1 4,477人が地域防災訓練に参加

自主防災会を中心に、市内各地で防災訓練を実施しました。担架による搬送訓練、普段とは違う場所からの避難訓練などを通じて、自助・共助の重要性を確認するとともに、地域の方同士の交流の場となりました。



12/20～1/31 水仙の薫りあふれる爪木崎

12月20日に第59回下田温泉水仙まつりが爪木崎で開幕しました。可憐な水仙が少しずつ咲きはじめ、水仙の甘い薫りで包まれています。見頃は1月中旬、皆さまも一足早い春を満喫してはいかがでしょうか。

- 16日 年末の交通安全県民運動 早朝一斉街頭指導
- 18日 寿大学
- 21日 防災講演会「軍師に学ぶ防災の心得」

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎2200



2月の予定

- 1日(土) 開館日
- 3日(月) 鬼さんと遊ぼう
- 5日(水) めだかルーム 9時～11時30分
- 6日(木) わくわくタイム
- 10日(月) 体育館で遊ぼう 9時30分～11時
場所：市民スポーツセンター
- 12日(水) あひるルーム 9時～11時30分
- 13日(木) 誕生会 10時30分～
- 15日(土) 開館日
- 17日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時
保健師・栄養士来所
- 19日(水) うさぎルーム 9時～11時30分
- 27日(木) おひなさま製作
- 28日(金) おひなさま製作

※予定は変更になる場合があります。

詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。



こども園給食体験



クリスマス会

新年あけましておめでとうございます。
ご家族で穏やかなお正月をお過ごしのことと思います。
今年もお子様の健やかな成長を保護者の皆様と一緒に温かく見守り支援していきたいと思ひます。また、育児相談も随時行っております。
利用者の皆様に安心して来ていただき、楽しい時間を過ごしていただけるよう、スタッフ一同お待ちしております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



ミニミニ運動会



誕生会

こんにちは、市長です

皆さんはどんな初夢を見ましたか？

今回はお正月にふさわしいおめでたい夢にまつわる落語「芝浜」から。
貧乏な魚屋の勝五郎が早起きして芝の浜に行くとき波打ち際で古い財布が入っている。中を見ると大金が入っている。びっくりして家に帰り、おかみさんに見せ、二人で数えると82両もある。おったまげる夫婦。勝は、これでもう働かなくていい、遊んで暮らせると大喜び、朝から酒(昨夜の残り)を呑んで寝てしまう。
翌日、いつものようにおかみさんに叩き起こされ、早く商いに行つて来いと言われる。82両もあるんだから働かなくていいじゃないかと勝。するとおかみさんは、何を寝ぼけているんだ、夢でも見たのか、と言って取り合わない。ああ、そうかあ、夢だったのかあ。とがっかりする勝。
しかし、ここで勝は、金を拾う夢などあてにせず、真面目に働かなくてはいけないのだと思ひ直す。そして酒を断つて人が変わったようにせっせと働く。月日が流れ、とうとう表通りに店を構えるまでになる。3年目の大晦日の晩、夕飯を食べようという段に、おかみさんから言われる。この財布を見てください、覚えていませんか。あっこれは夢で見たやつだと勝。夢じゃなかった、私が隠しました、と謝るおかみさん。どうか怒らないでくれ、これがあると真面目に働かないと思つて騙した、すまない。
勝は、怒るところか礼を言う。ありがとう。おかみさんは喜びながら3年間よく頑張つた勝に、好物の肴を出してお酌する。お爛された旨そうな酒を三年ぶりに飲もうとする利那、「よそう。また夢になるといけねえ」でおしまい。
勝五郎夫婦にとつての夢は、大金を拾つて贅沢に暮らすことではなく、真面目にしっかり働いてその結果として幸せな暮らしを手に入れることでした。
私たちのまち下田も、善良な幸せを目指していきたいと思ひます。市民の皆さんと力を合わせて。



下田 インフォメーション

マイナンバーカードの
窓口延長

1月第4金曜日夜間と土曜日午前
にマイナンバーカード窓口を開設します。
窓口延長日及び時間
1月24日(金)
17時15分～19時30分
1月25日(土) 9時～12時
持ち物
・郵送された個人番号カード
・交付通知書(交付の方のみ)
・マイナンバー通知カード
・本人確認書類(免許証等、顔写真付きのものは1点、保険証等は2点)

窓口の場所
市役所(東本郷庁舎1階)
市民保健課市民係(窓口②)
予約専用ダイヤル
☎21551
問合せ先
市民保健課市民係
(東本郷庁舎窓口②) ☎2215

1月の納税

納期：1月31日(金)
市・県民税 4期
国民健康保険税 9期
後期高齢者医療保険料 6期
介護保険料 7期

スマートフォン講座を開催します

開催日 2月4日(火)
場所 道の駅開国下田みなと会議室2
午前の部
時間 10時～12時
午後の部
時間 13時30分～15時30分
対象者
市内在住の65歳以上の方
募集人数 各10名(先着順)
受講料 無料

内容
スマートフォンの基本操作、文字入力、便利なアプリの紹介、地図アプリの使い方、メールの使い方、LINEの使い方等
申込方法
問合せ先にご連絡ください。
申込締切 1月30日(木)
持ち物
筆記用具・自身のスマートフォン
申込み・問合せ先
総務課情報推進係
(東本郷庁舎別館) ☎23921

下田市メール配信サービス

上級救命講習の開催



下田消防本部では、応急手当の普及啓発のため、上級救命講習を下田消防署、西伊豆消防署で開催します。
受講希望者は、次の事項を確認の上、申込みください。
場所
・下田消防本部3階防災対策室
・西伊豆消防署2階会議室
日時
【下田消防署】2月16日(日)
8時30分～17時30分
【西伊豆消防署】3月9日(日)
8時30分～17時30分

内容
心肺蘇生法(成人・小児・乳児・新生児対象) AED使用法、傷病者管理手当の要領・搬送法
対象者
下田消防本部管内に在住又は在勤の方
定員 下田、西伊豆共に20人
※先着順、定員に達し次第終了
受講料 無料
申込方法
下田消防署2階事務所又は西伊豆消防署1階事務所の窓口にて直接申込

社会保険料控除のお知らせ

確定申告・住民税申告に必要な「令和6年中納付額のお知らせ」を、1月下旬に発送します。
このお知らせには、社会保険料控除に必要な令和6年中の国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の納付額が記載されています。
確定申告・住民税申告をされる方は、申告の資料と一緒にご持参ください。

地域に貢献！ 宝くじ助成！



(一財)自治総合センターが行う「コミュニティ助成事業」は地域の健全な発展に役立てることを目的に、宝くじの収益を財源として、自治会の設備や備品の整備に対して助成する事業です。外浦区では、一般コミュニティ助成事業を受けて、放送設備の整備を行いました。情報伝達設備が整い地域コミュニティの活性化につながっております。



外浦区の整備例

65歳ノート活用講座

日時
2月12日(水) 10時～11時20分
場所 河内庁舎1階 会議室11C
対象 65歳以上の市民20名程度
内容
①救急搬送対応から学ぶ
②65歳ノート活用方法
参加費 無料
申込・問合せ先
地域包括支援センター
(東本郷庁舎窓口④) ☎4146

皆で楽しくいきいき健康体操

椅子に座ったまま、音楽に合わせて身体を動かし、心身リフレッシュしませんか？
日時
1月14日受付開始。
2月10日(月) 13時30分～15時
場所 道の駅開国下田みなと2階特別展示室
対象者 40歳以上の市民

海保フェスティン下田 ～海上保安官と一緒に～ 楽しく過ごそう！

海上保安庁の業務紹介と海難救助訓練などに併せ、緊急通報電話番号「118番」の周知に関する初めてのイベントを開催します。
伊東市出身のシンガーソングライター紫乃さん作製のサウンドロゴ披露、南伊豆町在住の画家堀内朗さんの伊豆の美しい風景画をベースに作製した118番啓発グッズを無料配布します。また、下田中学校サイフィン部の協力により作成したポスターを会場に展示します。
日時
1月18日(土) 10時～15時まで
場所 道の駅開国下田みなと2階特別展示室及び下田港外ヶ岡岸壁
内容
巡視船かの船内一般公開、海難救助訓練(下田港内)、制服試着体験、VR体験、業務紹介ビデオ放映、缶バッジづくり、3D海底地形図、航路標識灯器展示 等
問合せ先
下田海上保安部管理課
☎20118

定員 40名(先着順) 参加費 無料 講師 山田 明美 先生 (マスター上級介護予防運動スペシャリスト) 申込・問合せ先 市民保健課健康づくり係 (東本郷庁舎窓口⑤) ☎2217

給食用物資納入業者募集
応募資格
○学校給食1, 300食分、保育所・認定こども園給食250食分程度の給食物資を納入できる方
○市内に居住し、市内で3年以上営業している方
○市内の同一業種で組織する業種組合
申込方法
教育委員会にある申請用紙を記入の上、市税完納証明書、食品衛生監視票(点数票)の写しを添え申込みください。
納入物資の品目
肉類、魚類、野菜類、調味料他
物資納入期間
4月1日～令和8年3月31日
受付期間
1月10日(金)～1月20日(月)
申込・問合せ先
教育委員会学校教育課
(中央公民館) ☎23929

闇バイト強盗に注意！

その訪問、もしかしたら「強盗に入るための事前準備」かも。気をつけるポイント
・インターホン越しの対応を
・身分証提示を求めましよう
・家族構成、不在時間帯、お金に関する話は絶対しない
見慣れない車、不審な動きをする県外ナンバーの車やレンタカーも要注意！不審に感じたら通報をお願いします。
下田警察署 ☎20110
問合せ先
下田警察署管内防犯協会 ☎2766

法律問題の解決に困ったら、
独りで悩まずに弁護士へご相談ください。

下田ひまわり基金法律事務所
弁護士 三森 祐二郎
下田市東本郷2丁目9番15号
伊豆新聞社ビル3階
TEL: 0558-25-2131
まずは、お電話でご相談の予約をお願いします。

(広告)

2月の市民相談

相談日	内容	対象	時間	場所
2月4日(火)	2歳児健康相談	R5年1月生	8:50~9:50	市役所(河内)多目的室
	2歳6か月児健康相談	R4年7月生		
2月5日(水)	年金相談		11:00~16:00	
2月12日(水)	法律相談	どなたでも(要予約)	9:30~12:00	市役所(東本郷)小会議室1
	市民相談		10:00~15:00	市役所(東本郷)小会議室3
2月26日(水)	交通事故相談		13:00~15:30	市役所(河内)第1委員会室
	人権相談	どなたでも(予約不要)	10:00~14:00	市民文化会館小会議室2

問合せ先一覧
 市民相談：市民保健課市民係（東本郷庁舎窓口②） ☎22215
 法律相談：
 年金相談：市民保健課国保年金係（東本郷庁舎窓口③） ☎23922
 健康相談：市民保健課健康づくり係（東本郷庁舎窓口⑤） ☎22217
 人権相談：福祉事務所社会福祉係（東本郷庁舎窓口⑥） ☎22216
 交通事故相談：防災安全課消防安全係（河内庁舎2階） ☎4145

子育て支援ネットワーク通信

問合せ先 子育て支援ネットワーク事務局 ☎22216
 ●「下田わくわくパークこれば！」(福祉事務所 ☎22216)
 日時：1月25日(土) 10:00~15:00
 場所：市民スポーツセンター(サンワーク下田) 体育館
 ●ひよこサロン(未就学児と保護者の遊びと交流の場です)
 参加費：無料 主催：社会福祉協議会 ☎3294
 日時：1月16日(木) 10:00~12:00
 場所：道の駅「開国下田みなと」4階会議室3

水道当番工事店

※修繕費は有料です。対応時間 8:30~17:00

分担期間	工事店	電話番号
1月11日(土)	南渡辺住宅設備	27-1300
1月12日(日)	ヤマト設備工業(株)	23-3570
1月13日(祝・月)	須原設備	28-1161
1月18日(土)	杉本設備工業(株)	22-3040
1月19日(日)	南菊地ポンプ商会	22-1085
1月25日(土)	土屋設備	22-6506
1月26日(日)	株外岡組	22-1769 22-1250
2月1日(土)	斉藤住設	22-7245
2月2日(日)	南渡辺住宅設備	27-1300
2月8日(土)	ヤマト設備工業(株)	23-3570
2月9日(日)	須原設備	28-1161
2月11日(祝・火)	杉本設備工業(株)	22-3040

乳幼児健康診査

相談日	内容	対象	時間	場所
1月23日(木)	3歳児健診	R3年11月1日~R3年12月31日生	12:50~14:00	市役所(河内)多目的室

市公式 Instagram

市の魅力的な風景や住んでいるからこそわかるスポットの画像を発信していきます。



図書館だより1月号

問合せ先 市立図書館 ☎0352 ●休館日/毎週月曜日、第4木曜日及び祝日

図書案内

おすすめ!

へびくんの おさんぽ
 いろいろひろし/作・絵
 鈴木出版/発行

へびくんがおさんぽしていると大きな水たまりが…。へびくん、体を伸ばして渡ろうとしますが、みんながやってきて…。(対象年齢：2歳~)
 次は誰が来るのか、ぜひ予想してみてください。

一般書 書名	著者名	児童書 書名	著者名
暗黒戦鬼グランドイヴァー	ほんだ てつや 著	神さまの通り道 よみがえらせてはいけません	村上 しいこ / 作
PRIZE プライズ	むらやま ゆか 村山 由佳 / 著	まめまき ぱーらばら	おいし じゅんこ / 作
昇華 機捜 235	こんの びん 今野 敏 / 著	つめたいおおり どんなかたち?	いじち えいしん 伊地知 英信 / 文・構成
暮らしと物価の地政学 家計と世界情勢の関係がまるわかり!	こやまけん 小山 堅 / 総監修	あたたかな手 なのはな 整骨院物語	はまの きょうこ 濱野 京子 / 作
AIの作品は誰のもの?	たけい のぶとし 竹居 信利 / 著	かみさまのベビーシッター かみさまの家出	ひろしま れいこ 廣嶋 玲子 / 作

図書館カレンダー

休館日 1, 2, 3, 6, 13, 14, 20, 23, 27日
 15日(水) 寿大学【移動図書館】
 16日(木) ひよこサロン【移動図書館】

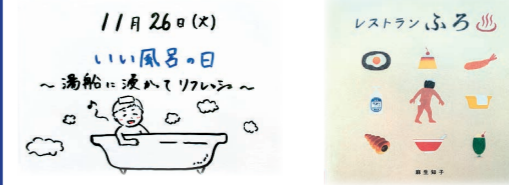
図書館ニュース

コーナー紹介「今日は何の日コーナー」
 図書館カウンター横に、記念日に関する本を集め紹介している棚があります。ぜひ、本を選ぶ際の参考にしてみてください。週ごとにテーマが変わるので、お見逃しなく!



今月の展示

▶特集コーナー
 お正月特集
 雪と氷の世界特集



11月届

氏名	死亡日	年齢
久保田 静枝	22日	98
山本 義孝	18日	92
高橋 伊三	15日	85
正木 友江	23日	81
宮川 英秋	26日	81

11月届
 謹んでおくりやみ申し上げます

11月届
 お誕生おめでとう
 あかるくすこやかに

11月16日から12月15日届け分 (敬称略)

戸籍のまど

人のうごき

住民登録人口	12月1日	増減
男	9,332	-26
女	9,975	-17
計	19,307	-43
世帯数	10,360	
出生	1	転入 34
死亡	33	転出 45

※戸籍のまどのコーナーに掲載を望まない方は、事前に係までお申し出ください。

12月届

氏名	年齢
宮下 常雄	8
鈴木 悦子	10
土橋 一徳	14
井野 健二	7
小林 知恵子	12
土屋 竜一	14
田中 龍子	11
吉佐美	73
箕川	57
横川	98
西中	78
西郷	99
二丁目	86
須崎	88
須崎	16
米澤	16
増田	16
長池	16
土屋 幹彦	26

メデイカル通信

消化器の検診

消化器疾患のうち、かつて死因第1位の胃癌は胃透視検査や内視鏡検査により発見され減少し、大腸癌も便潜血検査と大腸内視鏡検査により発見され減少しつつあります。この様に病気の早期発見に検査は非常に重要です。

胆臓疾患

検診の血液・尿検査だけでは見逃し易いのが胆臓疾患(胆嚢、胆管、膵臓)です。これには内臓の断面像が見られる腹部超音波断層検査(エコー)が必要です。腹部エコー検査は痛みも無く結石、炎症、腫瘍等を検出できます。検診項目に含まれると良いのですが、高度の技術と診断能力が必要であり、検査に時間が掛かり、検査数

が増やせないのです。その為胆臓系の癌は早期発見が難しい傾向にあります。人間ドックにはエコー検査が含まれます。

精密検査

胆臓の結石、腫瘍等の精密検査に、痛み無く身体の断面像が得られるCT検査とMRI検査があります。これらの検査で胆管結石や癌による閉塞が疑われた場合、内視鏡で胆管、膵管に細い管を入れ造影剤を注入してX線撮影する内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査(ERCP)があります。その際に十二指腸の胆管出口を拡張、結石を鉗子という道具で掴み摘出した後、胆管の閉塞部位に太いチューブを挿入して黄疸を解除する治療を行うこともできます。

医師に提案

腹部エコー検査はもつと普及・活用されるべき検査です。一般の検診だけでは不安な方は、ぜひ医師に相談してみてください。

問合せ先
 下田メデイカルセンター
 ☎252525

わが家のアイドル



六丁目にお住いの
ささもと たいき まこと
笹本 大生さん・真琴さんの

うみ
長女 羽海ちゃん（1歳5か月）

いつもニコニコで元気いっぱいの
うみちゃん！

お外で遊ぶことが大好きです♪

みなさんのお宅のアイドルを募集しております。

市役所へどしどしお寄せください！

問合せ先 企画課秘書広報係（河内庁舎2階） ☎2212



地域おこし協力隊の活動報告

皆さま、こんにちは。「移住コーディネーター部門」として活動している野添裕紀のぞえひろとしです。私事になりますが、昨年11月に入籍しました。交際期間も5年と長かったこともありませんが、楽しく暮らしているために、より一層頑張っていくたいと思っています。この先の人生も、笑顔と感謝を忘れずに歩んでいきたいと思っています。あたたかく見守ってくださいると嬉しいです。

2024年は2回の移住体験ツアーを開催しました。多くの方にサポートしていただき実施することができました。この場を借りて御礼申し上げます。それでは、私の活動の近況を紹介させていただきます。

①夏の移住体験ツアー

6月29日～30日に、同じ地域おこし協力隊の山口さんにご協力いただき開催いたしました。移住後に楽しめるアクティビティをテーマに、SUP体験ができる移住体験ツアーを開催しました。

1日目は、移住後に楽しめるアクティビティをテーマに、下田市全体の紹介や街歩きなどを行いました。夕方から地元の方や先輩移住者との交流会を開催し、それぞれ移住後の不安や楽しみを相談したりするなど交流を楽しみました。

2日目は、山口さんからレクチャーを受け、皆でSUPを楽しみました。はじめはぎこちない動きでしたが、すぐに慣れ、遠くまでこげるようになっていました。ランチでは海の幸をいただきながら最後の交流を楽しみました。

②秋の移住体験ツアー

11月2日～3日に農ある暮らし体験をテーマに開催しました。

1日目は、風まち下田で、オーナーの津留崎さんにご協力いただき半農半X[※]についてのお話しや移住後の暮らしの変化についてお話しいただきました。

夕方からは交流会を開催し、

この日も多くの地元の方や移住者にご参加いただきツアー参加者さんと交流しました。

2日目は、上大沢地区の皆さんにご協力いただき、有機栽培やばかし肥料の作り方、空き家見学、収穫体験、交流会を実施しました。

肥料の作り方では、みなさんがメモを取りながら熱心にお話しを聞かれていたことがとても印象に残っています。交流会ではすいとんや焼き芋など上大沢でとれた食材の料理で舌鼓。山の幸に皆さんとても喜んでいました。

今後について

下田に移住して3年目となり、任期は今年9月末までと残りわずかとなりました。少しずつですが、隊員卒業後の準備を進めています。

今年度は「なみまちクラフトコーラ」というクラフトコーラのシロップの発売を開始、カレー屋さん開業に向けて、店舗を探し始めています。これからも任期満了まで全力で頑張りますので、ご支援のほどよろしくお願ひします。

問合せ先

産業振興課地域経済促進係
（河内庁舎2階） ☎23914

『下田市LINE公式アカウント』始めました！！

LINEから、暮らしに関する様々な情報を受け取ることができます。お住まいの地域を設定することで、ごみ収集日前日にお知らせ通知が届きます。

友だち追加は、こちらから→



LINE